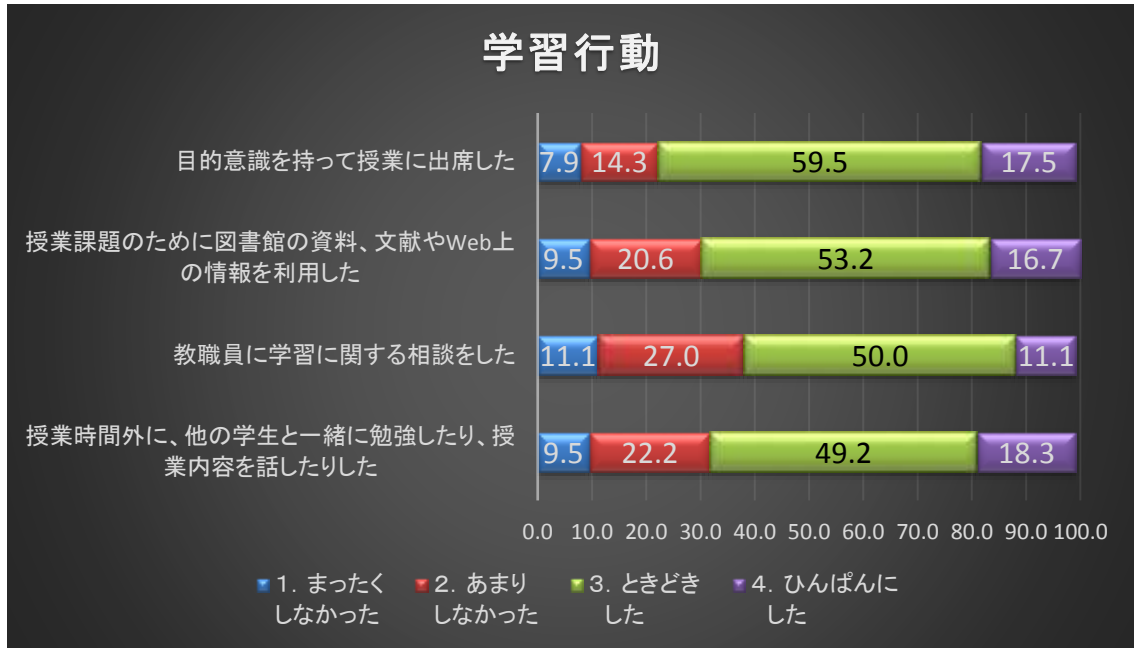
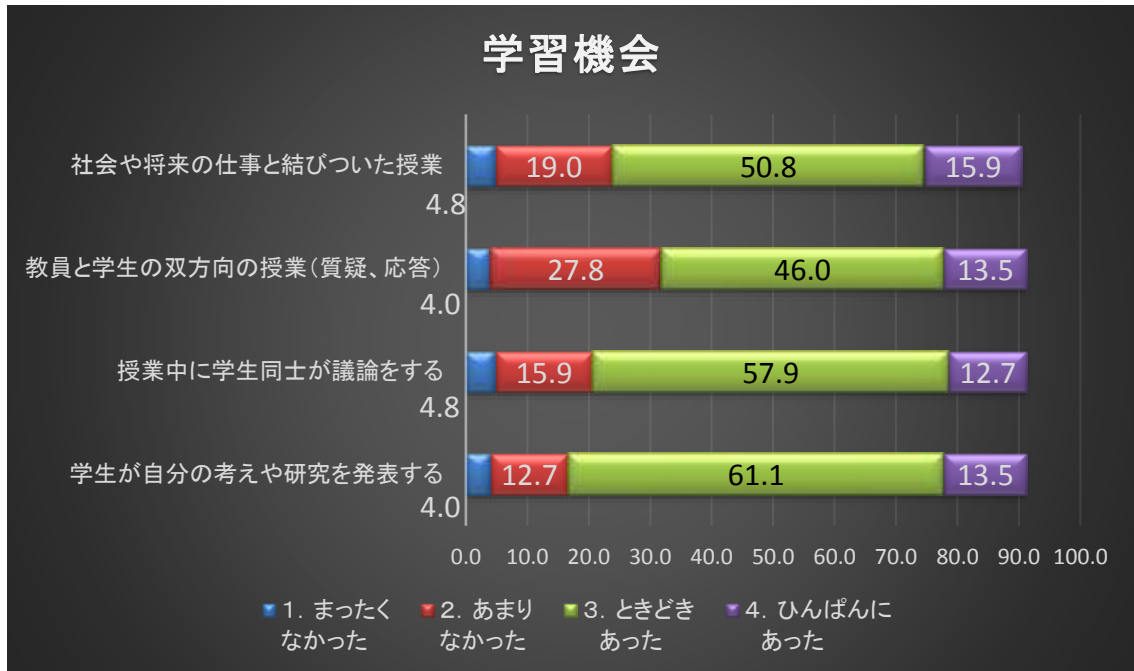


総合政策学部

学習行動

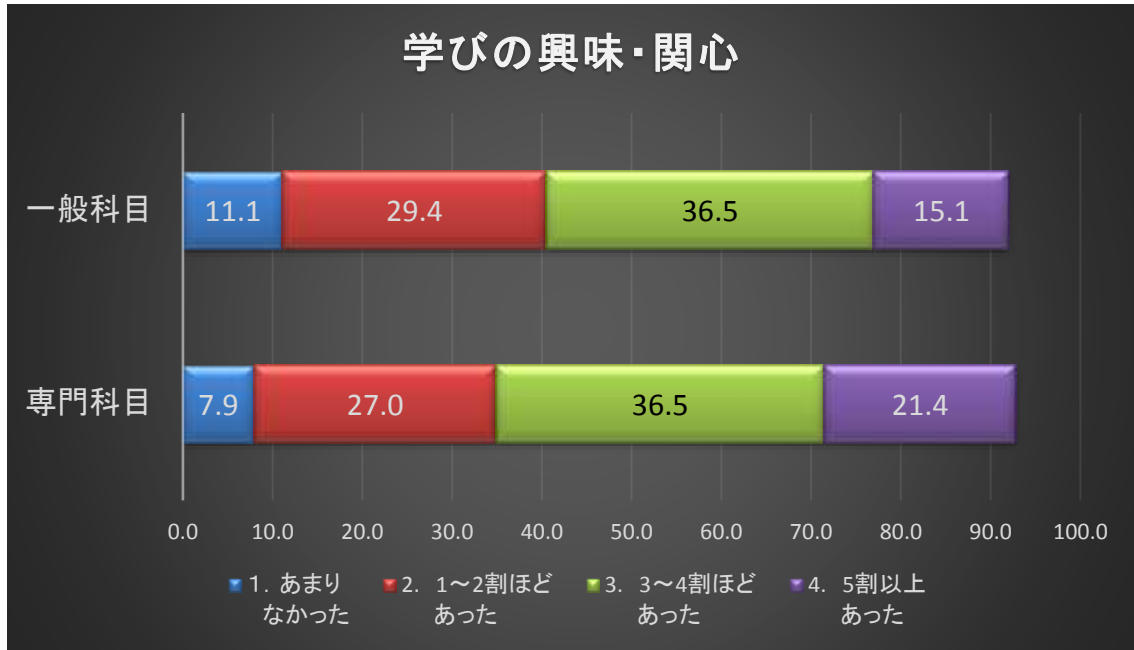


学習機会

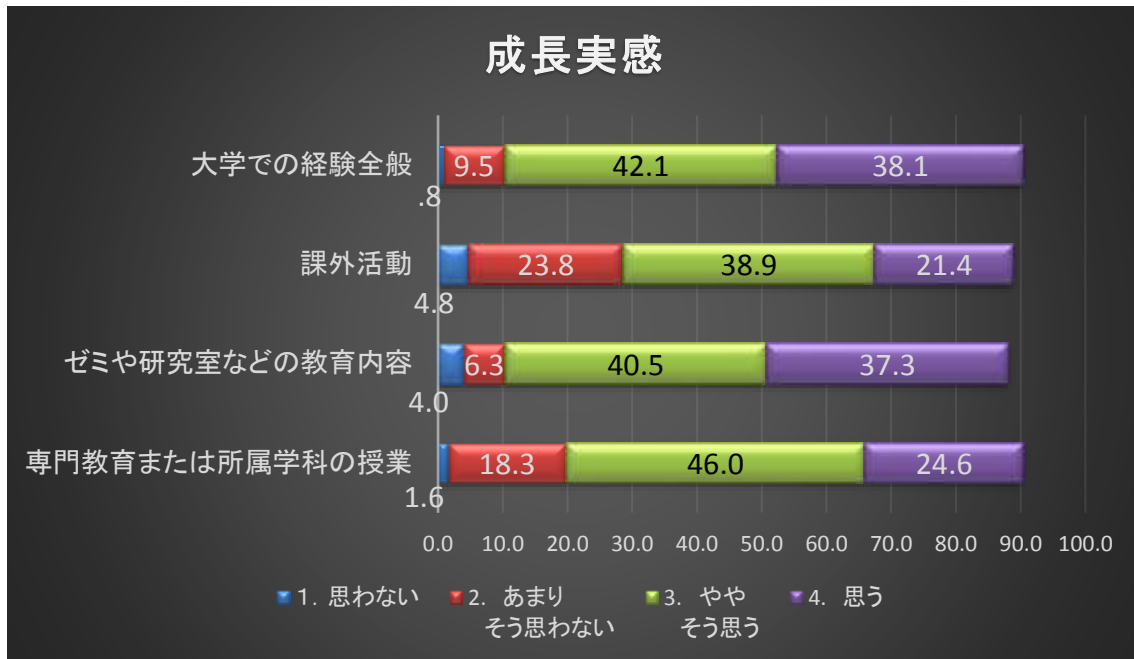


総合政策学部

学びの興味・関心（一般科目・専門科目）

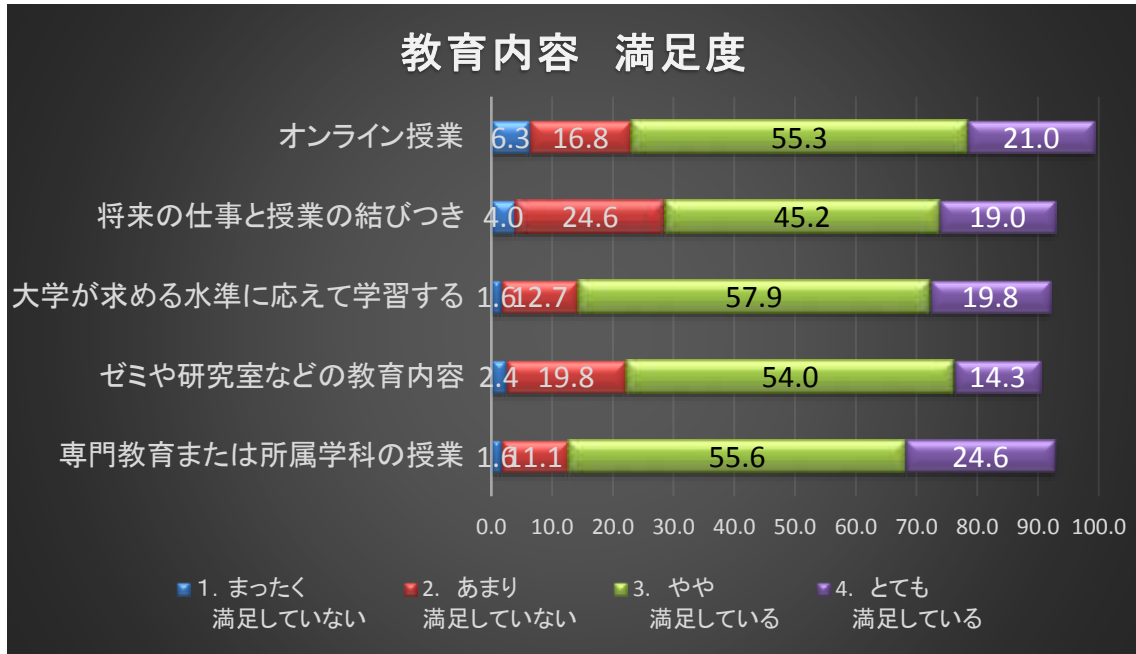


卒業時の成長実感

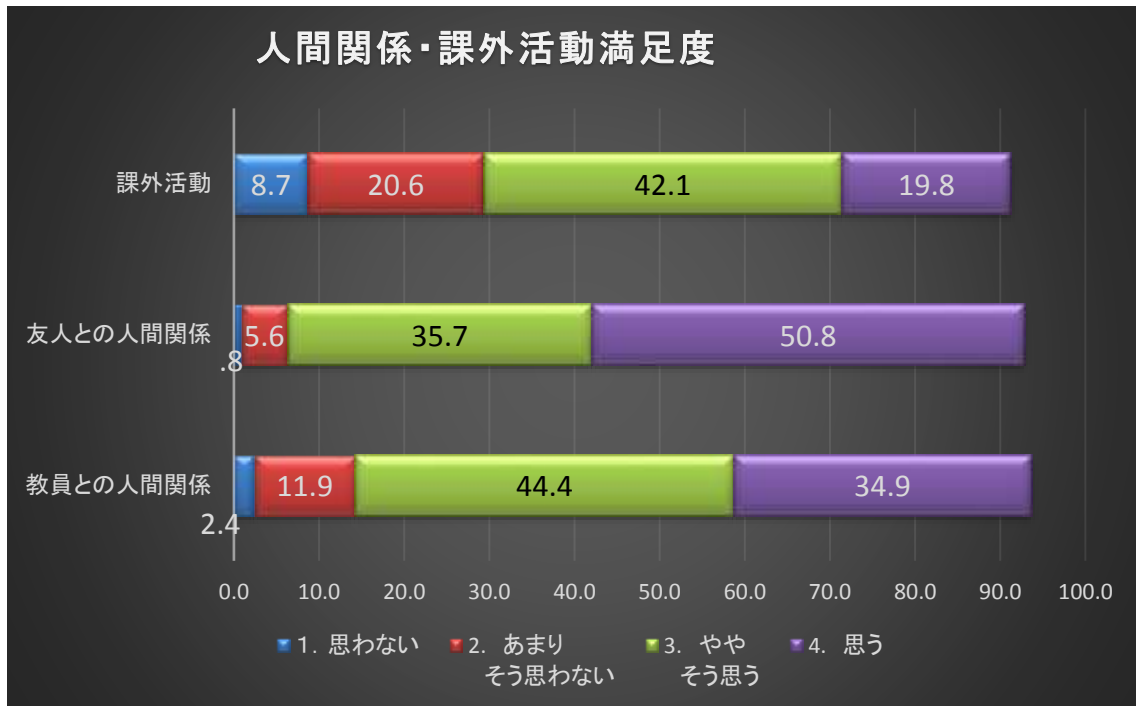


総合政策学部

卒業時の教育内容 満足度

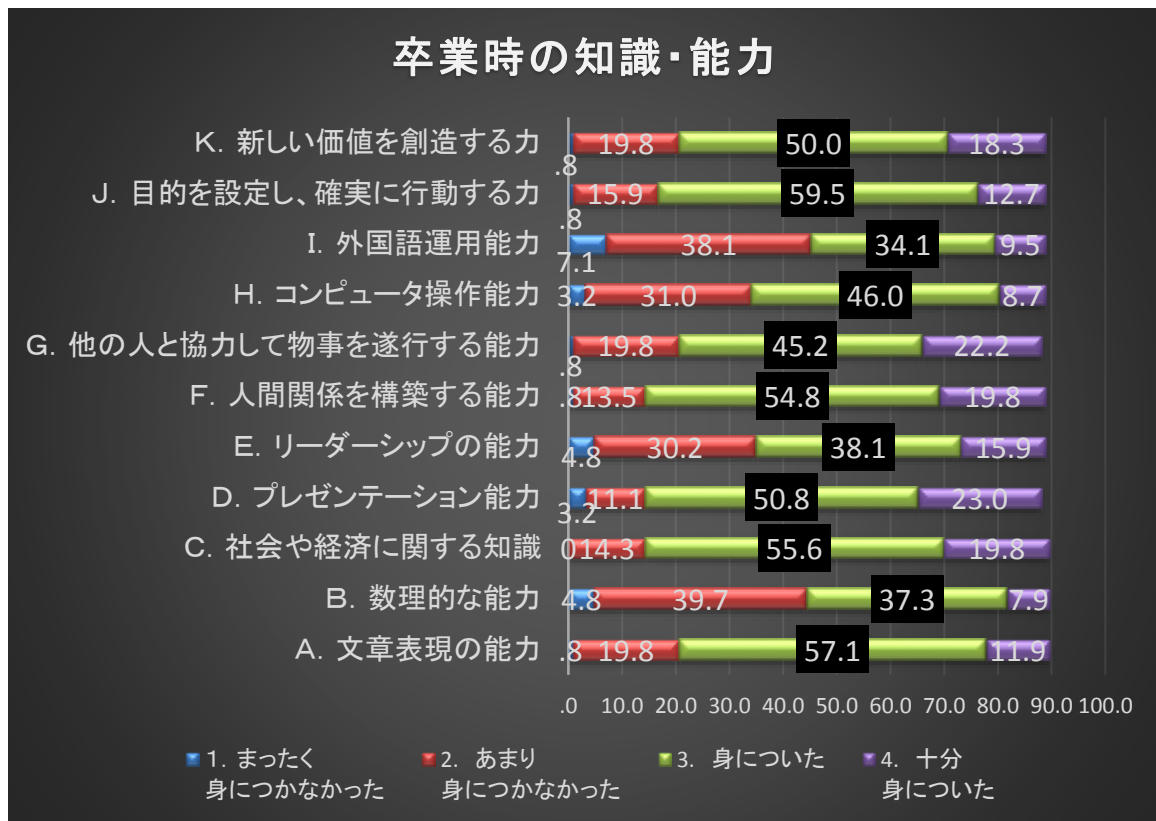
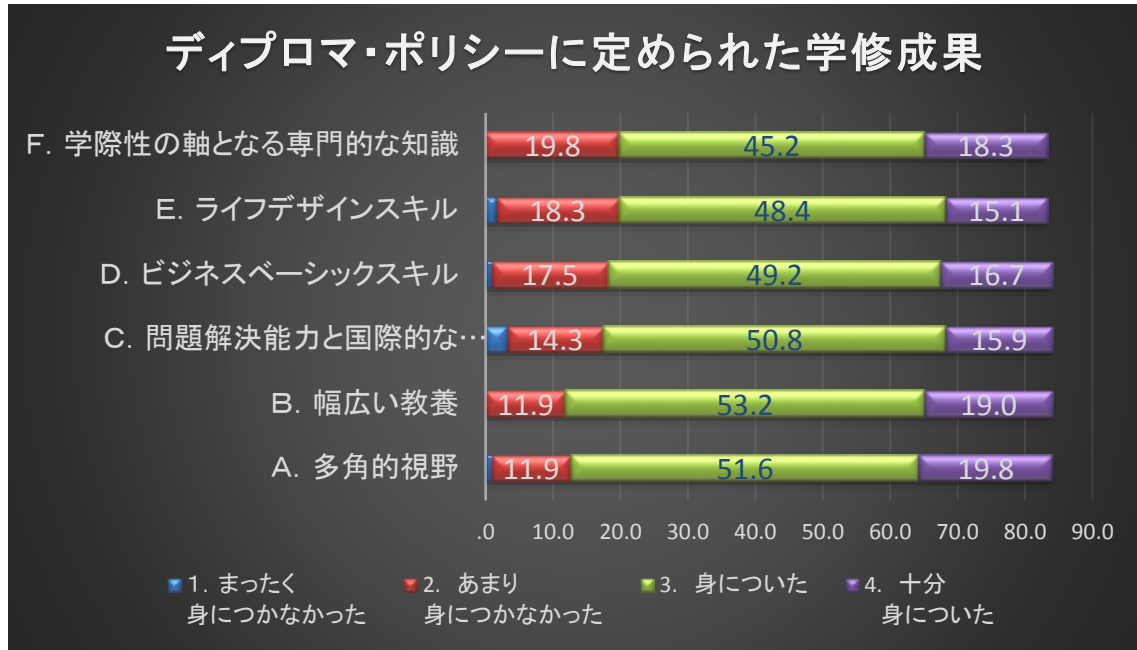


卒業時の人間関係・課外活動 満足度



総合政策学部

学修成果（卒業時の知識・能力の習得）



総 評：総合政策学部

総じて、学部の重視する教育が着実に行われていると言える。

まず学習行動に関しては、「目的意識を持って授業に出席した」の77%をはじめ、すべての項目で肯定的な回答が6割を超えている。一方で学習機会については、いずれの回答も概ね、肯定的回答であるものの、他学部と比較すると若干数値が低いと言える。とりわけ、「教員と学生の双方向の授業(質疑・応答)」に対する肯定的回答が6割程度にとどまっているのは、今後に向けての課題と言えよう。

学びの興味・関心については、一般科目・専門科目とも、5割~6割が肯定的な回答であり、他学部と比較すると低いと言える。しかしながら総合政策学部は他学部と比較して圧倒的に科目選択の幅が広いという事実があり、単純に比較することはできない。従って卒業時の成長実感についても肯定的回答が比較的高いと言える。

教育内容・満足度に関しても5項目すべてで64.2%~80.2%の卒業生が肯定的回答をしており、満足度は高いと言える。また人間関係・海外活動満足度に関しても、「友人との人間関係」や「教員との人間関係」は非常に高い。「課外活動」に関する満足度がやや低いですが、それでも約6割に卒業生が満足している。

ディプロマ・ポリシーに定められた学修成果に関しても、すべての項目で6割を超える肯定的回答が寄せられている。とりわけ「多角的視野」や「幅広い教養」といった、総合政策学部が最も重視する能力については、7割を超える卒業生が肯定的回答をしている卒業時の知識・能力については「社会や経済に関する知識」「プレゼンテーション能力」「人間関係を構築する能力」「目的を設定し、確実に行動する力」が身についたとする回答が非常に多く、ここでも学部が重視している知識・能力が身についたという卒業生が多いことは大変うれしいことである。他方で「数理的な能力」「外国語運用能力」が身についたとする回答が5割を割っている。今後はこれらのスキルの教育も重視していきたい。